



- 目次
- (1) エッセイ 私の一冊 (川勝泰介先生)
 - (2) 企画展開催中
 - (3) 伊藤喬治先生おすすめ本
 - (4) 学生の絵本紹介
 - (5) 図書館よりお知らせ

2023年スタート!



エッセイ 私の一冊

国語教育学会編『児童文化論』(岩波書店)昭和16年 川勝泰介



私が、研究テーマにしている「児童文化」と出会ったのは、1964年秋のことでした。中学校入学の年に、たまたま同級生になったのが有名な児童文化研究者の息子で、そのN君に誘われて彼の父親が勤務する大学の研究室を訪れたのです。(まさか後年、私とその研究室に勤めることになるなどは夢にも思っていなかったのですが……。)

大学の研究室というとアカデミックな堅苦しいイメージがあります。ところが、訪れたその研究室は、絵本や児童文学書におもちゃや人形劇の人形たちが所狭しと置かれた部屋でした。

その時、私は「児童文化」とはいったい何なのかとの疑問を抱きました。それが、のちに研究テーマになるのですが、当時の私は、それが私のライフワークになるなどはまったく思ってもいませんでした。

それ以来、なんとなく気になっていた「児童文化」でしたが、大学2年の春休みにたまたま出かけたデパートの古書市で、偶然、国語教育学会編の『児童文化論』(岩波書店)を見つけました。値札には400円と書かれていました。その時は、まだ児童文化を研究テーマにするかは決めていなかったのですが、昭和16年にこんな本が出ていたのかという驚きだけで、その古くさい本をとりあえず買って帰ることにしました。これが、私が買った初めての古書であり、児童文化の専門書です。

学部の卒論では、絵本をテーマにしたので、この本は買ってからもずっと本棚に置かれたままでしたが、大学院の修士論文でようやく目を見ることになりました。

児童文化研究は、絵本や児童文学やおもちゃなど「児童文化財」といわれるものの研究が大半ですが、私の研究は、「児童文化」とは何か)がテーマです。

偶然が重なってたどり着いた「児童文化」研究ですが、ユマニテク短期大学退職後の私に与えられた残りの時間で、この岩波書店の『児童文化論』を超える児童文化の理論体系を少しでもまとめられればと思っていますところ です。

企画展開催中!!

川勝泰介先生コレクション!

- ① いろいろな「三びきのこぶた」絵本
- ② いろいろな「赤ずきん」絵本
- ③ いろいろな「ももたろう」絵本

← 今回初公開です!

これまで川勝先生が長年収集されてきた上記の絵本を現在、図書館で展示しています。川勝先生が3月で退職されますので、この内容での開催は最後となります。自分の知ってるお話とは少し違う絵本もあると思います。ぜひこの機会に読み比べてみてください。



伊藤喬治先生おすすめの本！

『筑豊のこどもたち』土門拳

請求記号：748/ド

土門拳
筑豊のこどもたち



『関ジャム完全燃 SHOW』という番組が好きなのですが、この番組ではミュージシャンや音楽プロデューサーがいろんな曲をプロの視点(耳)で紹介するんです。浴びるようにそれに触れて、知識と経験を積んで、古典をおさえて、分析して初めてわかってくるもの、というのは、音楽に限らずどんな分野にもあると思います。本書は貧困にあえぐ、九州のとある炭鉱地域の子どもたちを撮った写真集ですが、まあ最初はよくわからない、白黒でパンチの効いてる写真集に見える方が大半ではないでしょうか。でも、懲りずに浴びるように目を通してほしい、蓄積してほしい古典の一つだと思います。

学生の絵本紹介

『イソップ寓話集—クラシックイラストレーション版』 請求記号：991.7/イ

ラッセル・アッシュ/バーナード・ヒットン編 秋野翔一郎訳 童話館出版

Kさん紹介

イソップ寓話は、ギリシアの伝説の奴隷と言われるイソップが語ったものを中心にした「寓話」といわれる素朴な教訓が含まれたお話のことです。数多くのイソップ寓話の中から、この本では「ウサギとカメ」や「北風と太陽」など46の作品が収められています。

この寓話集の中で私が好きなお話は、「ふたりのあそび友だち」と「ライオンとネズミ」の2作品です。

「ふたりのあそび友だち」は、ツルの親子と共に過ごしている親のいないトラの話です。子どものツルとトラは大の仲良しでしたが、弱いものいじめをする他のツルから仲良しの子どものツルを守るために、トラは弱いものいじめをしたツルを食べてしまいます。ところが、その結果、ツルの美味しさに気づいたトラは、「すきだよ、ツルくん」と言って子どものツルを食べてしまうというものです。

「ライオンとネズミ」は、狩りに疲れて眠っているライオンのからだを走り回っていた一匹のネズミが、ライオンに捕まります。しかしネズミが哀れみを乞うたので、ライオンはネズミを逃してやることにします。その後、しばらくして、ライオンは獵師の罠にかかり網から抜け出せなくなりますが、あの時逃したネズミがロープを齧り、ライオンを助けます。

この2つのお話はとても対照的です。ずっと仲が良かったけれど、美味しさに気づいて永遠の別れとなってしまったトラとツル。最初は食べようとしたけれど見逃し、その結果、恩を忘れなかったネズミに助けられたライオン。

イソップは、おそらく「あんな人もいればこんな人もいる」と、私たち人間を広い視野で見ているのだらうなと思います。

この本には、いろいろな画家による美しいクラシカルなイラストもついていますので、ぜひ手に取って楽しんでみてください。



ユマニテク短期大学 としょかんだより

9号(2023年2月1日発行)

ユマニテク短期大学 図書学術委員会
〒510-0066

三重県四日市市南浜田町4-21

Tel. 059-356-8170

<https://www.jchumanitec.ac.jp/library/>

☆OPAC(蔵書検索)はこちらから↓



図書館からのお知らせ

・長期貸出について

1年生：現在、実習前長期貸出期間のため、2/27が返却日です。

2/27以降の貸出は新年度4/3が返却日となります。

・2年生は卒業前に必ず本の返却をしましょう！

・蔵書点検のため下記期間は閉館します。

3/9(木)～10(金)・13(月)

★みなさんの原稿を募集します！

新刊紹介やおすすめ絵本の紹介などの原稿を募集します。

採用された方には図書カードを進呈します。ご応募お待ちしております。

詳しくは図書館カウンターまで。